

大垣市 農業委員会だより

第10号

平成29年1月1日 発行

編集/発行 大垣市農業委員会
(大垣市丸の内2丁目29番地)
☎ 0584-81-4111(内線532)
☎ 0584-47-8614(直通)
Fax 0584-81-4899

新年のご挨拶

大垣市農業委員会

会長 岩井 豊太郎



柿の木の下で、モアを使って草刈りをする会長

皆様にとって、平成29年の新春を、健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、私たち農業関係者にとって大きな変革の年であり、また改革元年の年ではなかったかと思えます。

昨年4月から、改正農協法、改正農業委員会法、改正農地法が施行され、JAグループも自己改革に取り組んでいる最中、11月11日に政府の規制改革推進会議農業ワーキンググループから急進的な農業改革の提言がなされました。その内容は、

①1年以内に全農の農産物委託販売の廃止と全量買い取り販売への転換

②1年以内に全農の購買事業を新組織に転換しメーカーに関連部門を譲渡、売却
③信用事業を営むJAを3年をめどに半減させる
というものです。

農業改革を進めなければならぬ改革推進会議の提言が農協改革の提言となっています。そのため、この提言は、協同組合原則への無知と無理解であり、市場原理一辺倒で、相互扶助に根差す農協総合事業を否定すれば、営農だけでなく地域社会を壊すことになる。また、協同組合自治への介入であり、組合員主権の協同組合に公権力の介入を許せば、民主的社会的基盤が危うくなる。などの猛烈な反発を招く

ことになりました。
その結果、改革推進会議が示した改革案は変更され、JA全農が数値目標を期した年次計画を作り、政府が点検し平成31年までの「改革集中期間」に達成を目指す方針となっています。

今後とも政府の不当な介入や圧力への警戒を緩めてはいけません。基本は組合員主権であり自己改革です。そして、全農にも改革の加速化と実効性が求められます。

本年は、トランプ氏の大統領就任によって発効が不透明となるTPPが、我が国にとって経済の面から、農業の面から、将来の国づくりの面からも大きな政治問題になることは間違いありません。

さらに、農業委員会にとっても大きな改革の年であります。本年は、農業委員の改選の年であります。農業委員は、今まで公職選挙法による選挙で選ばれていましたが、市町村長による任命制を導入するということです。この制度が円滑に運営されるよう行政ともしっかりと連携を取っていききたいと思います。

本年も課題の多い年になります。皆様方のご協力をよろしくお願ひします。

多芸島地区の紹介

大垣市農業委員

桑原 一



あけましておめでとつござい
ます。

皆様方におかれましては、健
やかに新年をお迎えのことと心
からお喜び申し上げます。

多芸島地区は、大垣市の南
西部に位置し、養老鉄道の友
江駅、大外羽駅の沿線にあり、
農地は市街化調整区域です。
改良組合が8組合あり、JA
にしみの多芸島支店を拠点に
活動しています。

当地区の耕作面積は155haあ
り、そのうち、農業法人が約
61%を耕作し、残り39%を農
業法人以外で耕作しています
が、高齢化により担い手がな
く、後継者不足で苦慮してい

ます。

多芸島地区では、サトイモ部
会の結成やキャベツの集団作付
など、地域ぐるみで営農活動
を行っています。また、休耕田を
活用したマコモタケの栽培や加
工、販売など、6次産業への取
り組みも始まっており、水稲以
外の作付による地区の将来を
見据えた活動に注目を集めて
います。

担い手不足や高齢化が進ん
でいる中、地区の農業委員とし
て、行政のご指導と地域の皆様
のご支援ご協力を得て、微力な
がら努めさせていただきま
すので、よろしく願います。

水のめぐみ

大垣市農業委員

小倉 桂 一



人間は古来、常に水の挑戦
を受けながらも水を利用し、水
に親しんでまいりました。

私たちの住む大垣も古くか
ら水都と呼ばれ、豊かな水のめ
ぐみを受けながら発展してまい
りました。その反面、洪水など

水の被害にあうことも多く、そ
れらは輪中という独特の風土
と郷土意識を生み出し、水との
戦いの歴史を今に伝えていま
す。

和合地区の大島堤(輪中)に
は、柿ノ木戸大樋が設置され、
平野井川と西濃用水より導水
し、市東部の稲田を潤していま
す。大樋の近くには水神社があ
り当時の藩主が水難除けの宮

として創立、社殿などの造営は
藩庁が行っていたようですが、
今では大島町内で引継ぎ、毎
年7月1日に祈願祭が執り行
われています。

こうした歴史のある土地で水
のめぐみを大切にしながら農業
をすすめる耕作放棄地を解消
し、健全な農用地の確保に地
域の皆様と話し合いながら取
り組んでまいりたいと考えてお
ります。ご理解とご協力をお
願います。



農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員会制度が変わりました。(平成28年4月1日改正)

- 1 農業委員会の重点業務に、農地等の利用の最適化の推進が追加されました。

農地等の利用の最適化

担い手への
農地利用の
集積・集約化

耕作放棄地の
発生防止・解消

新規参入の促進

- 2 農業委員の選出方法が、これまでの選挙制と市長の選任制(議会・団体推薦)の併用から、市議会の同意を要件とする市長の任命制のみとなりました。
- 3 農業委員と連携して活動する農地利用最適化推進委員が新設されました。

農業委員

委員会に出席して農地法等に基づく審議を行い、合議体としての決定行為を行います。

連携

農地利用最適化推進委員

担当区域において、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等、積極的に現場活動を行います。

大垣市では農業委員の任期満了に伴い、
平成29年7月20日から新体制へ移行します。

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集

募集期間	平成29年2月1日(水)～平成29年2月28日(火) 必着
募集人数	農業委員 19人 担当区域なし 農地利用最適化推進委員 11人 担当区域(6区域)ごとに募集
任期	平成29年7月20日～平成32年7月19日
応募方法	「推薦」と「自らの応募」の2種類の方法があります。 応募方法の詳細については、募集期間中に「募集要項」を農業委員会事務局にて配布するとともに、市ホームページでお知らせします。

担い手紹介⑥ 株式会社 D.I.B

代表取締役 林 達也

平成20年に任意組織を設立し、平成26年5月に法人化を行い水稲を中心に生産、販売に取り組んでいます。

経営面積は毎年増加し、主に中川地域を中心に現在約50haの水田を40代を中心としたメンバー10名程で管理しております。

最近の農業における環境は、米価の下落、補助金のカットなど非常に厳しく大変な時代に突入しました。

その中でどのように生き残っていくか、スタッフ全員で考え取り組んでいる最中であります。

私の地域では、昔から果樹(梨)の産地でもあります。今年から新たに次世代の梨栽培法に挑戦し、水稲との複合経営に取り組んで行こうと思います。



- 住 所：大垣市北方町1丁目1194番地
- 代 表 者：林 達也
- 設立年月日：平成26年5月1日

- 経営面積及び内容
水稲 約 50ha (飼料米含む)
梨 15a
- 電話番号：0584-47-7026

大垣市農地賃借料情報

平成28年1月から12月までに、農業経営基盤強化促進法に基づき利用権設定された賃借料及び農地法第3条許可により設定された賃貸借における賃借料水準は、次のとおりです。

〈水田の部/10a当たり〉

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
大垣地域	3,000	3,000	3,000	5
上石津地域	9,000	10,000	8,000	4
墨俣地域	4,400	5,000	2,000	57

※市街化区域は除く

老後の備えは
万全ですか？

\\ メリットいっぱい!! \\ 国が支える担い手積立年金

農業者年金 に加入しよう!

加入要件

60歳
未満

国民年金
第1号
被保険者

年間
60日以上
農業従事

3つの要件を満たせば
どなたも加入できます!

※有利な国民年金の付加年金も併せて加入ください



【お問い合わせ・申込み 大垣市農業委員会・JA または 岐阜県農業会議 ☎058-268-2527】

みんなで築こう 人権の世紀 ~ 考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 ~